

土砂災害防止施設の整備推進（防災・安全）

計画概要

◆計画期間

平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）

◆計画の目標

南海トラフ地震などの巨大地震や豪雨などに起因して発生する土砂災害による犠牲者ゼロを目指して、土砂災害防止施設の整備を推進する。
また、既存の土砂災害防止施設に要求される機能及び性能を長期にわたり維持・確保するため、長寿命化計画を策定する。

◆計画の成果目標（定量的指標）

指標①：土砂災害防止施設の整備により、土砂災害から保全される人家の戸数を10554戸から11116戸へ増加

指標②：土砂災害防止施設の整備により、土砂災害から保全される重要交通網、要配慮者利用施設及び避難所を保全対象に含む箇所を102箇所から125箇所へ増加

評価内容

◆ 交付対象事業の進捗状況(平成31年度末時点)

事業名	事業費※1	事業の実施状況	指標① 対象事業	指標② 対象事業
交付対象事業				
A1 砂防事業	6,394百万円	男川第8支川始め、33箇所の土砂災害防止施設が完成した。	○	○
A2 地すべり対策事業	422百万円	宝区域の土砂災害防止施設が完成した。	○	
A3 急傾斜地崩壊対策事業	3,316百万円	山ノ入区域始め、12区域の土砂災害防止施設が完成した。	○	○
A4 その他総合的な治水事業	287百万円	情報基盤の整備を実施した。		
C4 効果促進事業	13百万円	土砂災害マイハザードマップの作成・印刷を行った。		
合計	10,432百万円	各指標の進捗率	103%※2	65%※3

※1:事業費は実績額

※2:進捗率(%)は各事業の計画の成果目標 指標①に対する実施割合 【保全人家戸数ベース】

※3:進捗率(%)は各事業の計画の成果目標 指標②に対する実施割合 【土砂災害防止施設の整備箇所数ベース】

◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況(平成31年度末時点)

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況 (別紙1)

・市立塩津保育園1戸(建物3棟) (収容人数60名、人家20戸相当)および浄夢院(寺院)1戸を保全対象とする今御堂区域急傾斜地崩壊対策事業において急傾斜地崩壊防止施設を整備したことにより、土砂災害から保全される要配慮者利用施設が増加した。

II 定量的指標の達成状況

指標①(土砂災害から保全される人家の戸数)

最終目標値	11116戸	目標値と実績値に差が出た要因	—(目標を達成)
最終実績値	11131戸		

指標②(土砂災害防止施設の整備箇所数)

最終目標値	125箇所	目標値と実績値に差が出た要因	用地・補償交渉が難航し時間を要したため。
最終実績値	117箇所		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)

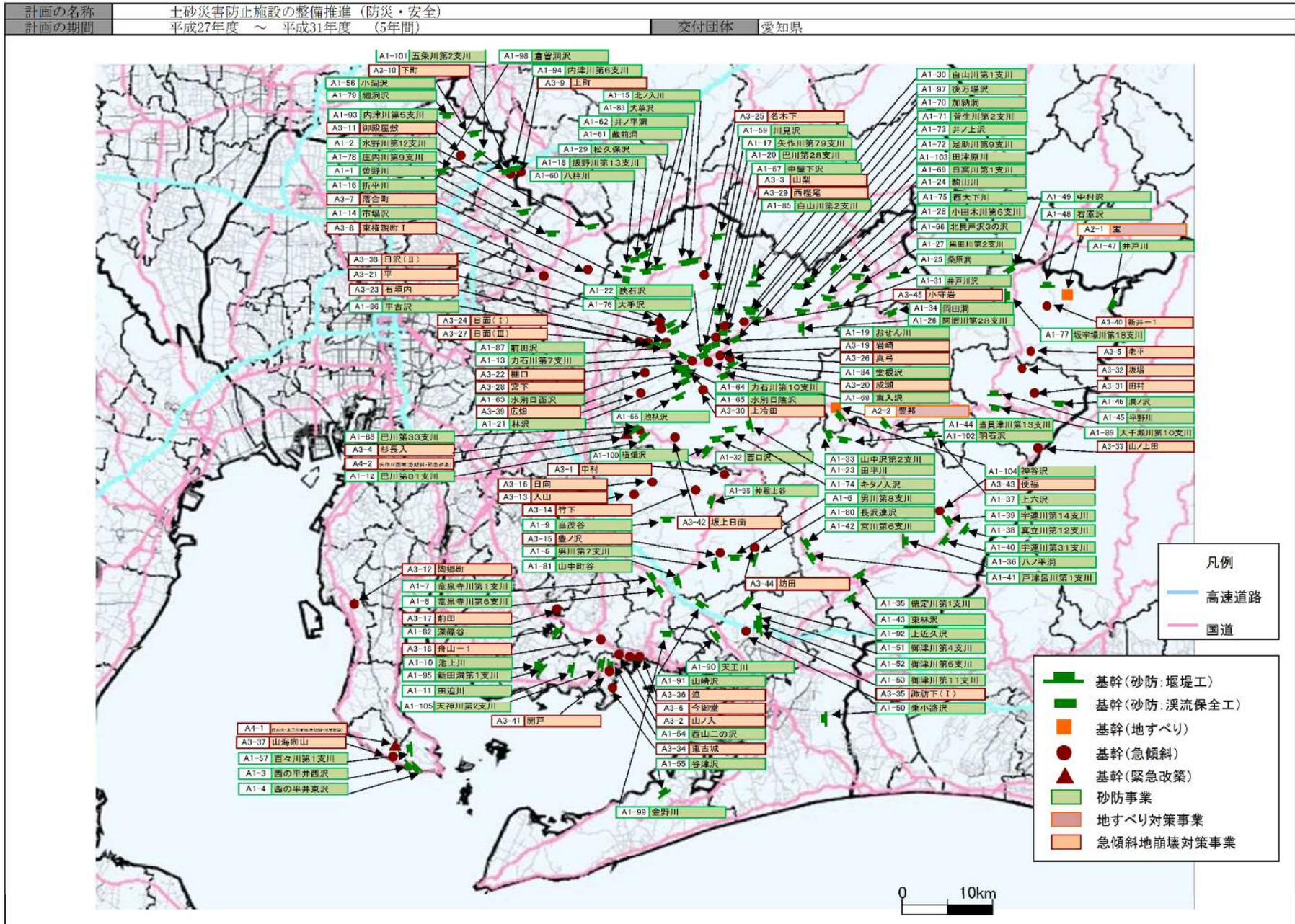
—

◆今後の方針

計画の成果目標である定量的指標は、指標①は平成31年度末までに達成できた。今後はより一層土砂災害防止施設の整備を行うことにより、安心・安全な地域づくりに貢献する。

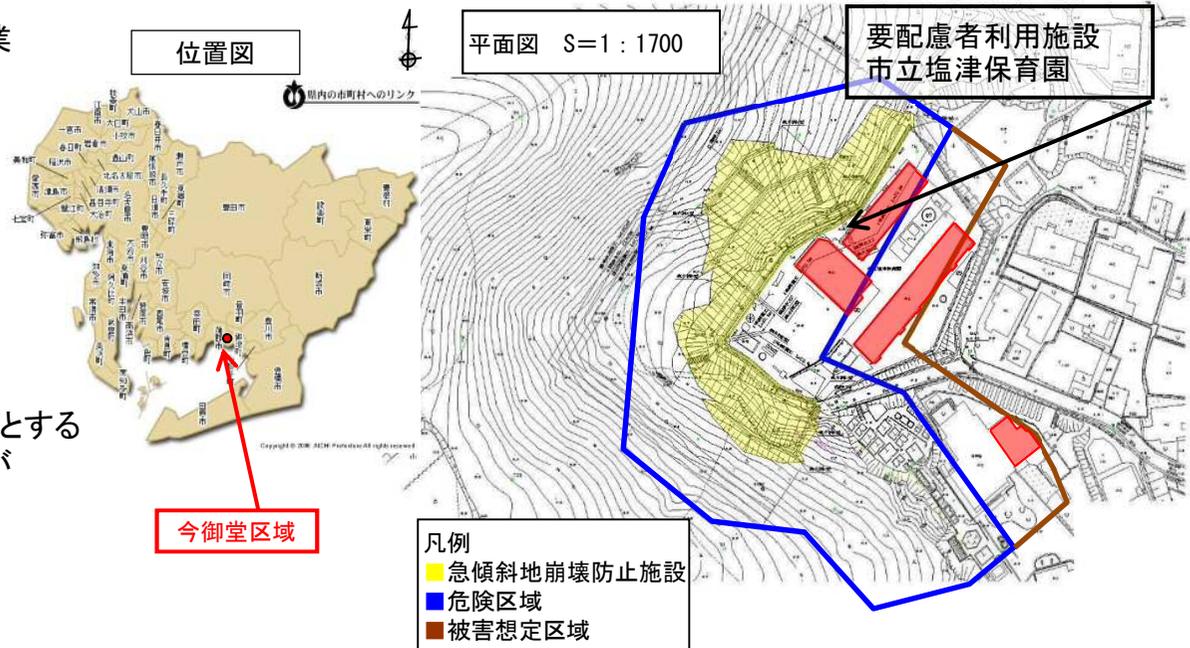
参考図面

「土砂災害防止施設の整備推進（防災・安全）」計画 参考図面



【基幹事業】

- 事業名 今御堂区域急傾斜地崩壊対策事業
- 工事概要 擁壁工L=116m、
法枠工A=1,220m²
- 事業箇所 蒲郡市竹下町
- 事業主体 愛知県
- 保全対象 市立塩津保育園1戸(建物3棟)
(収容人数60名、人家20戸相当)
浄夢院(寺院)1戸
- 事業効果 急傾斜地崩壊防止施設の概成により、保全対象施設が保全され、要配慮者利用施設などを保全対象とする土砂災害危険箇所の保全箇所数が増加した。



着手前



概成